

## 防災・減災に関する取組報告

**堺市** 令和3年度末にリニューアルした「堺市防災マップ」の啓発活動の実施

**和泉市** (マイタイムライン・防災ガイドマップの配布)

**泉大津市** 妊産婦ホテル避難制度、妊産婦ホテル避難体験会

**高石市** 内水・洪水ハザードマップ（追補版）の作成・配布

**忠岡町** 忠岡町総合防災マップを活用した出前講座と地域避難訓練の実施

**府農緑** 森林保水力向上対策・河積断面確保対策（雨水を安全に流下させるため対策）

**府河川室** 河川の防災情報を提供するHPをリニューアルし、避難や水防活動に資する情報提供を充実化

## 取組内容 令和3年度末にリニューアルした「堺市防災マップ」の啓発活動の実施

### ○概要

- ・堺市ではハザードマップを令和4年3月にリニューアルし、これまで別個に作成していた「防災ガイドブック」と「区別防災マップ」を一つにまとめ、誰もが見やすく、興味を引くようなデザインをコンセプトとした「堺市防災マップ」を発刊しました。各区別のマップを掲載した区別版に加え、シニア世代、子育て世帯向け、やさしい日本語で構成した全市版をそれぞれ作成しました。
- ・さらに、本市所縁の劇画家であるさいとう・たかを氏のご協力の下、氏の作中キャラクターとコラボレーションした特別版も作成しました。
- ・今年度においては、防災マップの認知度向上や、内容の理解をさらに深めて頂くことを目的に、各種イベントで職員が直接解説をするなどの啓発活動を実施しました。



### ○啓発の様子



取組内容 (マイタイムライン・防災ガイドマップの配布)

各自の避難計画であるマイタイムラインを令和4年に和泉市内で全戸配布し、住民一人一人・各家庭で風災害に備えてもらう為の取組みを行い、出前講座でもマイタイムラインの啓発をしている。

また、災害についての知識・日頃の備え、避難の方法などをまとめた和泉市防災ガイドマップを令和5年3月に改訂・発行し、全戸配布することで、自助・共助の推進の取組みを行った。

マイタイムラインQRコード



防災ガイドマップQRコード



# 妊産婦ホテル避難制度

夜泣き、授乳、感染症。色々な不安があり、妊産婦は避難所への避難をためらいがちです。

妊産婦の“不安を安心に変えたい”そこで、ホテルを妊産婦専用の避難所として活用する制度をつくりました。

いつ起こるかわからない災害。“いつ、いかなる時も、安心して避難できるよう”、東京海上日動との連携で、市が宿泊代を保険でカバーする新たな仕組みもつくりました。



市内2つのホテルと災害協定を締結



赤ちゃんもママもパパも安心して避難

<https://www.ktv.jp/news/bousai/220920/amp/> (R4年9月 関西テレビ)

<https://www.yomiuri.co.jp/local/osaka/news/20220618-OYTNT50169/> (R4年6月 読売新聞)

# 妊産婦ホテル避難体験会

こどもの命を守り、避難し、食料や寝る場所まで確保する。家族の“長い1日”を、1日かけて“疑似体験”できるイベントを開催しました。

妊産婦家族は、実際に避難所となる市内のホテルへ避難。1泊2日で、“赤ちゃん”“心肺蘇生法の講習、災害VRとAR、断水時の洗濯方法などを体験をしました。

参加者からは「家とは違う環境で、子どもが寝つかなかった」「備蓄していた液体ミルクを試したが、飲まなかった」等の気づきが生まれました。

協力：関空泉大津ワシントンホテル / 住友ゴム工業(株)泉大津工場 / 東京海上日動火災保険(株)  
いずみそれいゆライオンズクラブ / 花王グループカスタマーマーケティング(株) / 江崎グリコ(株)



“赤ちゃん”心肺蘇生法の講習



ガレキの中をベビーカーで避難



火災VRの体験

## 取組内容 内水・洪水ハザードマップ（追補版）の作成・配布



高石市総合防災マップ（令和3年6月作成）

洪水・内水ハザードマップ、高潮ハザードマップ、津波ハザードマップ

台風や地震・津波発生時にとるべき行動、自宅・地域での備え、情報の入手先 etc

➡ 令和3年7月に自治会から各戸配布、市公共施設や駅への設置、市HPへ掲載



防災シンポジウム(8月)



総合避難訓練(11月)

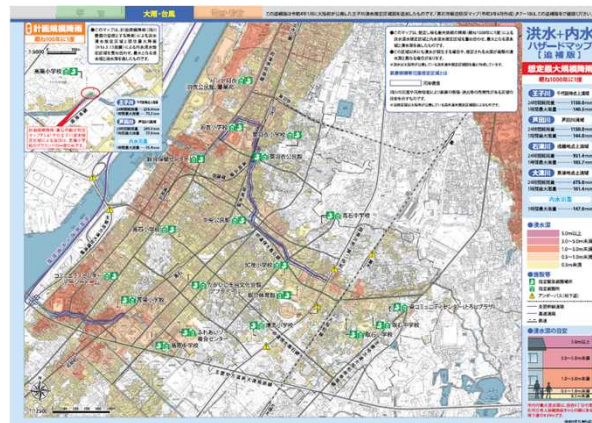
その他  
説明会（市内4カ所）  
出前講座  
自主防災組織の勉強会  
高石高校(2年生)への講座  
などで啓発

王子川浸水想定区域の公表を受けて

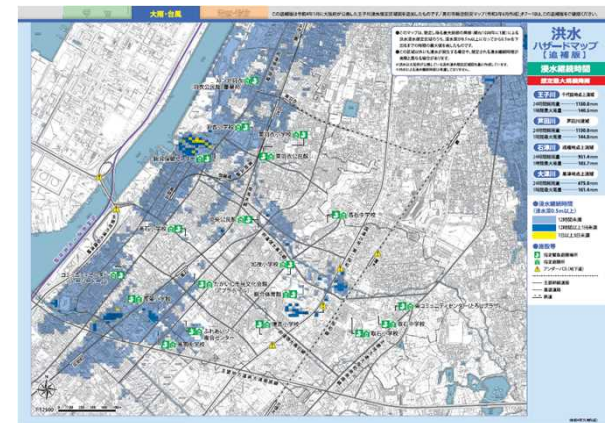
令和4年11月  
内水・洪水ハザードマップ  
（追補版）を作成



広報紙(R4.12号)に折込み、  
市公共施設や駅への設置、  
市HPへ掲載



表面



裏面

## 取組内容 忠岡町総合防災マップを活用した出前講座と地域避難訓練の実施

小さい町ながらも地域によって発生しうる災害事象が異なるため、総合防災マップを活用し、地域の状況に見合った出前講座と訓練を実施。

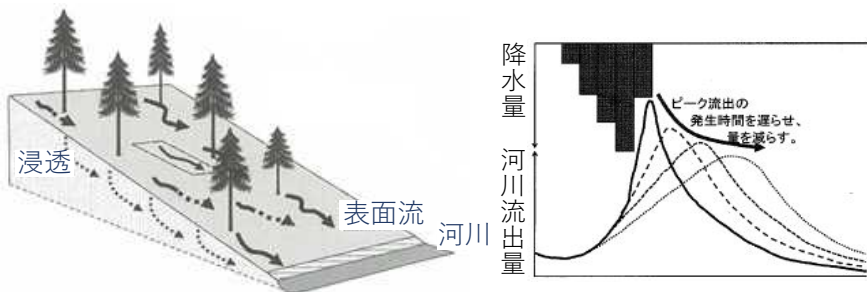
繰り返し実施することにより非常時に取るべき行動の確認と、地域間交流の発展をめざす。



取組内容 **森林保水力向上対策・河積断面確保対策（雨水を安全に流下させるため対策）**

●森林の「洪水緩和機能」の向上

- 森林には森林土壌により雨水を浸透させることで洪水ピーク流量を低減し、ピークの発生時間を遅らせるはたらき。
- この効果を適切に発揮させ、森林の保水機能を強化する必要。



斜面における筋工の面的整備による保水力向上

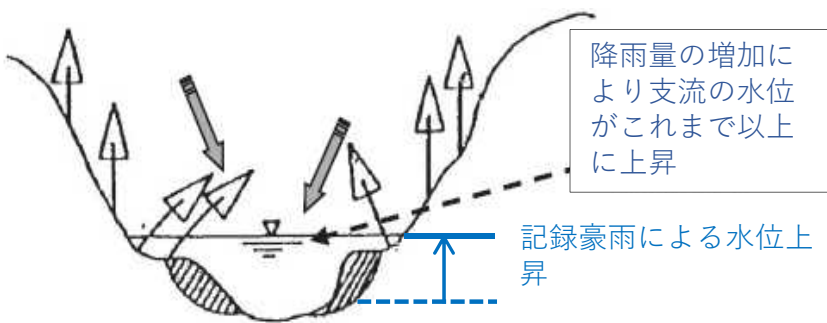


表面侵食の発生  
(保水機能の低下)

筋工による土壌の保持  
雨水浸透促進

●森林の「土砂流出防止機能」の向上

- 短期間豪雨の増加に伴い溪流の浸食量が増加。
- 下流への流出土砂量が増大するおそれ。



治山ダムを  
階段状に配置  
(土石流対策)



溪流沿いの  
危険木除去  
(流木被害  
防止対策)





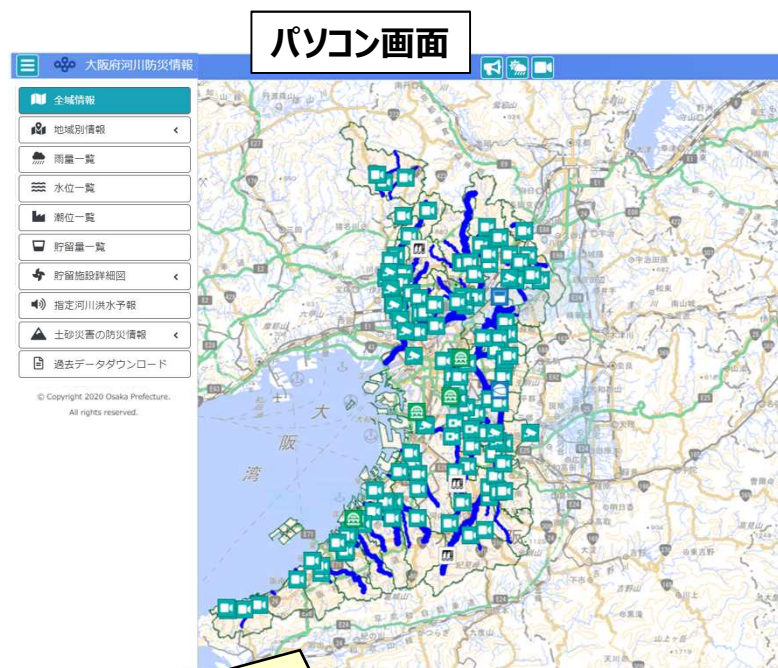
## 取組内容 河川の防災情報を提供するHPをリニューアルし、避難や水防活動に資する情報提供を充実化

大雨の際に府民の皆さんが躊躇なく避難行動をとれるように、雨量、河川水位や河川カメラ画像などの河川防災情報を公開しています。（英語対応）

<https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>



## 令和4年12月～ ホームページを大幅リニューアル



パソコン画面



スマホ画面

観測時刻	戎橋 基準 m	万歳橋 基準 m
堤防高	7.065	6.917
氾濫危険水位	4.20	3.45
避難判断水位	3.85	3.10
氾濫注意水位	3.75	3.00
水防団待機水位	2.50	1.50
最大値 [18:37]	4.45	[18:26] 5.25
最小値 [04:30]	1.23	[16:54] 0.20
既往最大	4.24	5.01
09/02 18:24	4.24	5.25
09/02 18:23	3.94	5.23
09/02 18:22	3.95	5.23
09/02 18:21	3.79	5.20
09/02 18:20	3.77	5.15
09/02 18:19	3.70	5.08
09/02 18:18	3.94	4.99
09/02 18:17	3.95	4.91
09/02 18:16	3.90	4.82
09/02 18:15	3.79	4.70
09/02 18:14	3.77	4.59
09/02 18:13	3.70	4.47
09/02 18:12	3.65	4.37
09/02 18:11	3.60	4.25
09/02 18:10	3.57	4.15
09/02 18:09	3.54	4.04
09/02 18:08	3.52	3.92
09/02 18:07	3.48	3.79
09/02 18:06	3.44	3.68
09/02 18:05	3.39	3.59

水位情報閲覧画面

**新ホームページの改良点①**  
～閲覧可能情報の追加～  
これまで閲覧できた水位、雨量、貯留施設（ダム等）状況に加え、新たに**洪水リスク表示図、土砂災害警戒区域、土砂災害の防災情報、降水ナウキャスト、水門・鉄扉等施設の開閉状況、開設避難所情報**が同一画面上で閲覧可能に！

**新ホームページの改良点②**  
～スマートフォンに対応～  
スマホ専用画面を新たに作成  
スマホの位置情報から**自分の位置、周囲の河川状況、開設された避難所の位置が一目で分かる！**

**新ホームページの改良点③**  
～リアルタイム化～  
水位情報の提供を**10分⇒1分間隔に短縮**  
リアルタイムで水位が確認できる！

# 大阪府域 流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～880万人の暮らしを守る「防ぐ」「逃げる」「凌ぐ」を組み合わせた流域治水の推進～

大阪府  
参考資料

## ●グリーンインフラの取り組み



### 【全域に係る取組】

- ・アドプト・リバー・プログラムによる美化活動
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

○寝屋川流域では、下水道整備の進捗等により、昭和50年以前の劣悪な水質が改善し、平成27年以降は全ての環境基準点で環境基準を満たしています。

○淀川水系田尻川や芥川などでは、多様な生物に配慮した多自然川づくりを進めています。

○水都大阪の再生やかわまちづくり事業など、河川区間を活かした賑わいを創出していきます。

このような、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進していきます。

## ●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・ダム建設に伴う現地植生回復

## ●治水対策における多自然川づくり

- ・上下流の連続性確保に向けた魚道の整備
- ・現地発生材を活用したみお筋の整備

## ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小中学校、水辺の学校等との河川環境学習
- ・自治体・住民・企業との協力による河川美化活動
- ・寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み
- ・花木や紅葉の美しい樹木の植樹による景観資源の創出

## ●魅力ある水辺空間・賑わいの創出

- ・水の都を取り戻す水都大阪の再生
- ・自然環境と周辺の歴史的資源を活かしたかわまちづくり

アドプト・リバー・プログラムによる河川美化活動



水辺の学校による河川環境学習

